

未来をひらく企業誘致

図 地域振興課 ☎ 32-1906

全国的に少子高齢化と人口減少が進む中、まちの活気を保つことは地方にとって大きな課題です。市ではこの課題に対応するため、九州の中心部に位置する地理的な優位性と交通アクセスの良さを武器にPR活動を行い、企業誘致を積極的に進めています。

企業が宇城市に拠点を置くことは、単に税収が増えるだけではなく、市民の雇用の拡大や市への移住定住者数の増加など、地域経済に大きな波及効果をもたらします。

平成17年の5町合併以降の20年間で、製造業、IT関連業、物流業などの企業と締結した立地協定は57件に上ります。特に近年、立地協定の数は加速しており、令和5年以降は14件に達し、計画されている設備投資額は150億円以上、約2000人の雇用創出が見込まれています。

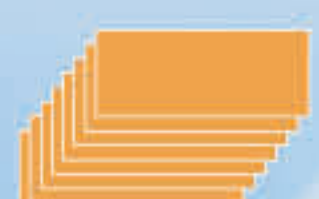
市では、これからも工場や事業所の誘致を積極的に取り組み、市民一人一人の生活を豊かにし、地域の持続的な経済発展を目指していきます。

これまでの実績



誘致企業
65社

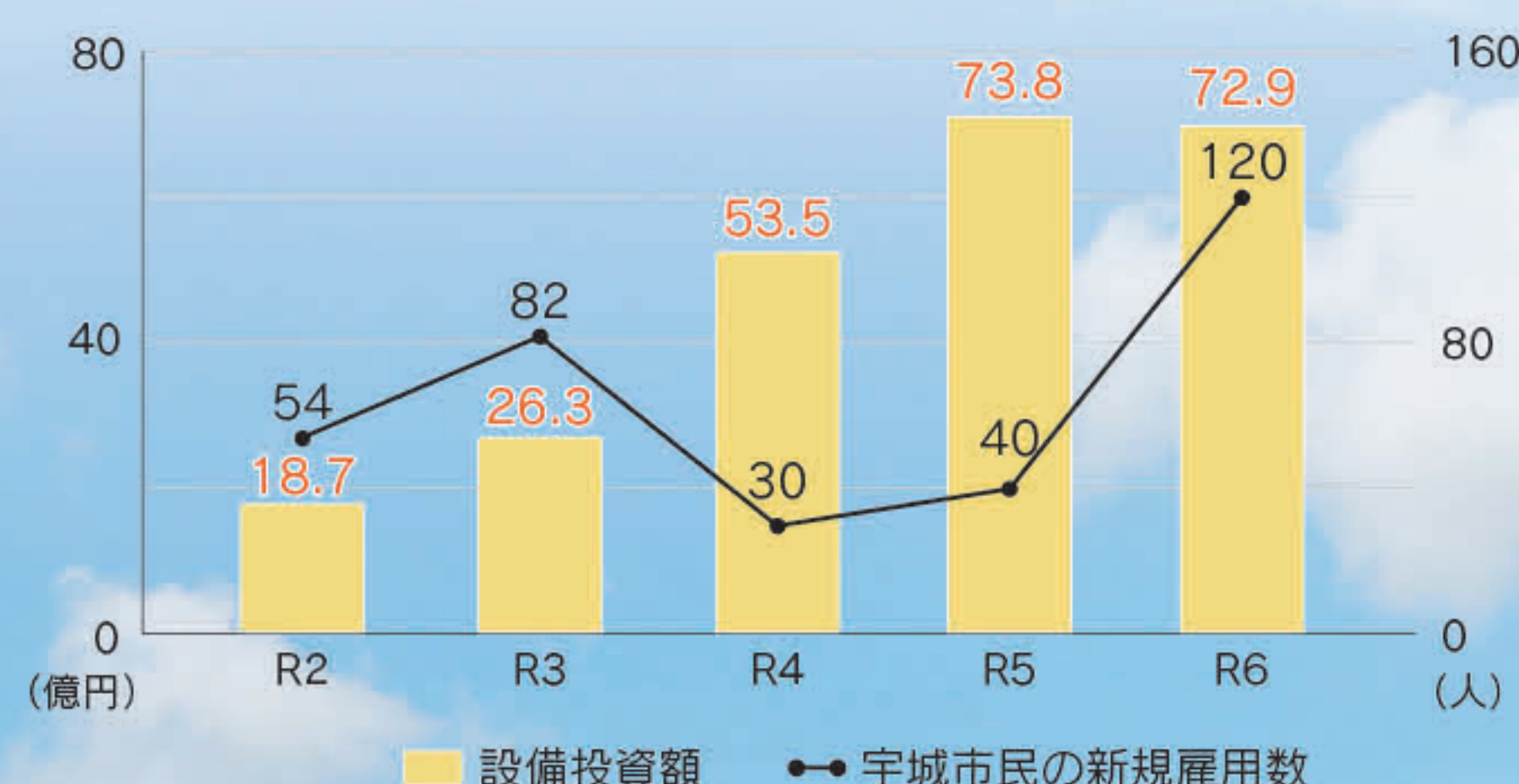
※令和6年度まで



市の税収
約4.6億円

※令和6年度
市民税、固定資産税など

誘致企業の経済効果



8月に松橋町萩尾に完成した
DOWAエコシステム(株)熊本事業所

うきから あなたから 情報発信。みんなでつながろう。

ウキカラ⑩

市長 雑記帳



豪雨災害から1カ月以上が経ちました。被災された方々も懸命に頑張っておられます。宅地内に流れ込んだ土砂撤去は、多くのボランティアや消防団の皆さんのご協力で、おおむね完了することができました。心から御礼申し上げます。

今後は河川や道路、農地などの復旧にあたりますが、市としても国や県の補助金に加え、市の補助金も上乘せしながら、被災者の負担を減らすよう頑張っています。対応にご不明な点や、ご不満もあるかと思いますが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。いち早く元通りの生活ができるように全力を尽くしてまいります。

【県立小川工業高等学校 視察】

体育館ならびに新実習棟が浸水被害を受け、県教育委員会も迅速な対応を講じていると伺っています。体育館は長期間の使用が難しい状況であり、部活動や学校行事まで大きな影響が及んでいます。私も9月4日に伺いましたが、想像を絶するような大きな被害でした。

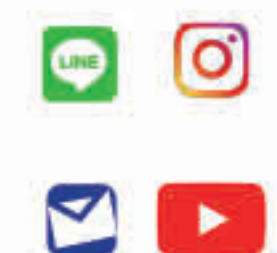
今後は、市の教育委員会や学校関係者と連携し、卒業式や入学式、部活動などで市の教育施設を利用していただけよう協力していきます。



ご活用ください

市内の情報をお届けしています

ホームページ



詳しくはこちらの
二次元コードから



2 目次／9月1日現在の人のうごき／市長雑記帳

3 特集 未来をひらく企業誘致

8 まちのわだい

10 現在進行形の宇城市を知る THE UKI NEWSLETTER

12 かしこくみんなの年金学／消費者トラブル注意報
／郷の記憶をたどる／使ってみよう公共交通

14 人事行政の運営状況

16 災害支援の重要なお知らせ

19 パートナーシップ通信／人権フェスタ

20 あなたのくらしにピタッと 月刊 宇城通信

26 おでかけガイド

28 不知火美術館・図書館

29 おうちくん・バンクくんのお宅訪問／
松橋町ふるさとまつり

みんなのひろば

30 地域の魅力再発見／みんなの掲示板／#投稿／#読者の声
／宇城市市制20周年 まちの人たちも盛り上げています！

32 ままろうよこころ

9月1日現在の人のうごき

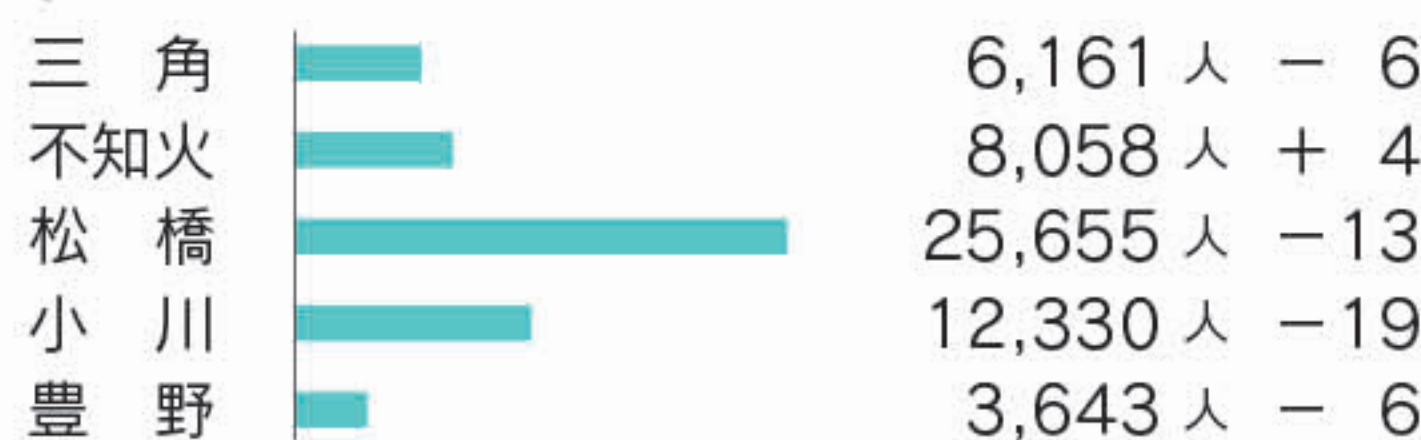
総人口

55,847人 男 26,828人／女 29,019人
(うち外国人) 男 559人／女 512人

前月比

−40 男 −17／女 −23
(うち外国人) 男 +19／女 +14

まちごと



出生 21人 死亡 75人
転入 141人 転出 127人

世帯数

25,398世帯 前月比 +36

